

日本の医療機器、及び医療・その他サービスの導入可能性調査（1/6）

a. 聞き取り調査対象輸入販売業者

- 下表のダッカ市の主要輸入販売業者6社へ聞き取り調査を行った。
- 6社は全て25年以上の営業年数があり、最も年数が長いSiemens Healthcare Ltd.（ドイツ系）は50年近い営業実績がある。従業員数は、最も多いGraphic Machinery & Equipment Ltd.（日系/Fujifilm）が400人、続いてSiemens社が120人、Medtronic Bangladesh Ltd.（アイルランド・米系）が65人、その他は20人から30人規模である。なお、UniMed UniHealth Pharmaceuticals Ltd.（現地系）が地方事務所を5か所所有しているが、それ以外はダッカ本社から全国に事業展開している。

表7: 聞き取り対象6社の事業概要

会社名	系列	営業年数	従業員数	地方事務所
Graphic Machinery & Equipment Ltd.	現地系（Fujifilm製品取扱）	26年	400人	なし
Siemens Healthcare Ltd.	ドイツ系	48年	120人	なし
Medtronic Bangladesh Ltd.	アイルランド・米系	30年	65人	なし
UniMed UniHealth Pharmaceuticals Ltd.	現地系	27年	29人	5か所
Erbis Engineering Co., Ltd.	日系（Canon）	25年	27人	なし
Endolap Services Ltd.	現地系	25年	22人	なし

日本の医療機器、及び医療・その他サービスの導入可能性調査（2/6）

b. 医療機器の輸入販売実績

- 検査機器（CTスキャナー、MRI、カラードプラ検査機、コンピュータX線撮影機、超音波検査器（USG））から手術機器（冠状ステント、心臓ペースメーカー弁等）まで、日本、ドイツ、EU/米国を中心に、一部韓国、中国から輸入。
- 最大の事業規模を持つGraphic Machinery & Equipment Ltd.（Fujifilm系列）は、従業員数400人、年間売上額約135億円、年間顧客数10,000人。日本製品は、価格（費用対効果）、品質、耐久性、保証、補修管理の点で優位性があると評価されている。
- 医薬品は、6社中1社が輸入していたのみ。バングラデシュ国内の製薬会社は国内需要の97%を担い、残り3%の医薬品が国外輸入されているため（引用：JETRO, バングラデシュBOP実態調査レポート：薬局事情, 2013）日本からの輸出可能性は現状では限定的である。

表8: 聞き取り対象6社の販売実績・事業規模

会社名	取扱製品	輸入額/年	売上額/年	顧客数/年	輸入国	販売先
Graphic Machinery & Equipment Ltd.	医療機器	100億Tk	100億Tk	10,000人	日,米,中	病院
Siemens Healthcare Ltd.	医療機器	70億Tk	70億Tk	5,000人	独	病院,政府
Medtronic Bangladesh Ltd.	医療機器	13億Tk	12億Tk	100人	米,EU,日	病院
UniMed UniHealth Pharmaceuticals Ltd.	医療機器	不明	不明	50人	米,独	病院,政府
	医薬品	不明	不明	不明	米,独	不明
Erbis Engineering Co., Ltd.	医療機器	不明	不明	1,000人	日,韓	不明
Endolap Services Ltd.	医療機器	3億Tk	2.5億Tk	300人	日,韓,米	病院他

※「不明」は、保秘等の理由から回答が得られなかったもの。

日本の医療機器、及び医療・その他サービスの導入可能性調査 (3/6)

c. 日本企業からの輸出可能性

- 医療機器については、日本製品は、価格（費用対効果）、品質、耐久性、保証、補修管理の点で優位性があると評価されており、日本企業による輸出可能性は高いと考えられる。
- 医薬品については、国内需要の97%が国内で生産され、輸入は国内需要の3%のみであることから、日本企業からの輸出可能性は当座は限定的と考えられる。

d. 日本企業参入の際の課題・留意点

- 医療機器については、FujifilmやCanon系の輸入販売店が過去25～26年、自社製品を主軸に一定規模の事業を展開しているため、これら。既参入製品との補完性や棲み分けを検討する必要がある。
- 日系輸入販売店の取扱い製品以外については、上記、現地で既に評価されている日本製品に対する評価を参考にしつつ、現地で流通している競合製品との比較優位性を調査した上で、個々の医療機器製品の輸出可能性を検討する必要がある。

日本の医療機器、及び医療・その他サービスの導入可能性調査（4/6）

以下、協力企業の機材/製品の購入意向を確認した。

表9: 協力企業 アカギトレーディング社製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
Epithod 616	全体的に興味あり	提携先3医療機関を含む、合計9社(特に一次医療機関)から同製品の購入に関心があることを確認した。そのうち、一社は試験導入に進み、来年度DGDAより許可が下りた場合には購入したいと回答があり、同製品への高い関心を確認できた。

表10: 協力企業 アークレイ社製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
The Lab 004	29施設中12施設が興味あり	提携先3施設を含む、合計12社(特に一次医療機関)から同製品の購入に関心があることを確認した。
A1c Advanced	29施設中15施設が興味あり	提携先3施設を含む、合計15社(一次・二次医療機関ともに)同製品の購入に関心があることを確認した。
PU-4010	29施設中13施設が興味あり	提携先2施設を含む、合計13社(特に二次医療機関)から同製品の購入に関心があることを確認した。
GT-7120 GT-7120専用試薬	29施設中4施設が興味あり	提携先医療機関3施設はすべて生化学検査機器にて検査を行っているため興味を示さなかった。他方で、合計4社(特に一次医療機関)から同製品の購入に関心があることを確認した。
SP-4430（二次医療向け）	29施設中8施設が興味あり	提携先3施設を含む、合計8社(一次・二次医療機関ともに)から同製品の購入に関心があることを確認した。
SE-1520（二次医療向け）	29施設中16施設が興味あり	提携先3施設を含む、合計16社(一次・二次医療機関ともに)から同製品の購入に関心があることを確認した。
ADAMS A1c HA-8380V Lite	一台販売成約済み	エリアを限定せずに販売の可能性を調査している中で、二次医療機関での購入意向があり、アークレイ社日本側・代理店に協力を得る形で販売成約に繋がった。

日本の医療機器、及び医療・その他サービスの導入可能性調査（5/6）

以下、協力企業の機材/製品の購入意向を確認した。

表11: 協力企業 MBL社製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
Testing Solution For Autoimmune Blistering Diseases	29施設中すべて関心を示さず	本事業実証エリアでは“Autoimmune Blistering Diseases”が一般的ではない事が、すべての医療機関が興味を示さなかった理由として挙げられる。
iFlash-1800	29施設中8施設が興味あり	提携先医療機関3施設はすべて興味を示さなかった。主な理由として、同製品のような高スループットの製品を使用する程、検体数が回収できていない事が理由である。他方で、合計8社(特に二次医療機関)から同製品の購入に関心があることを確認した。

表12: 協力企業 スカイツファーマ社取扱製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
NCDs関連製薬品	外資製薬会社 (スカイツファーマG 製薬企業) 参入障壁は 高いものの関心あり	NCDs関連製薬品に対する需要の高さが見込まれる一方で、バ国において国内製薬会社シェアが97%であり、外資製薬が入り込める余地があるか、今後も調査が必要である。具体的には、追加調査により、本年度調査結果の『70%以上の“NCDs”患者』のNCDs疾患名を詳細に把握することで、販売ポテンシャルの高い製品の絞り込みが今後必要である。
	バ国内製薬会社 (スカイツファーマ チャンネル活用) 医薬品卸しとしてバ国 を基点にした水平展開 には関心あり	バ国内製薬会社は、近年安価なジェネリックという強みを活かし海外への販路を模索し、国外での薬局ネットワーク構築による販路開拓へ関心が高い。同意向を受けて、スカイツファーマ社(及び豊田通商子会社のEurapharma社)の販路を活用し、バ国内製薬会社と共に、海外展開に関する協業を検討中である。

日本の医療機器、及び医療・その他サービスの導入可能性調査（6/6）

以下、協力企業の機材/製品の購入意向を確認した。

表13: 協力企業 スカラ社製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
遠隔医療サービス	49患者中すべてが関心を示さず	主な理由として、対面での医師相談を希望していることと、医師相談をした場合、殆どのケースにおいて血液検査等が発生する中で、その場で検査が行える現状の医療機関での診察を希望していたことが挙げられる。

表14: 協力企業 Hishab Japan社製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
投薬リマインドサービス	49患者中29患者が興味あり	興味を示した患者29名に同サービスへの希望支払額を確認をしたところ平均額は約65円/月であった。

表15: 協力企業 堀場製作所社製品

製品名	意向	医療機関（その他購入者含む）側のニーズ
Microsemi CRP	29施設中14施設が興味あり	提携先3施設を含む、合計14社(一次・二次医療機関含む)から同製品の購入に関心があることを確認した。
ABX Micros ES 60	29施設中8施設が興味あり	提携先医療機関3施設はすべて血液学検査機器を導入しているため興味を示さなかった。他方で、合計8社(特に一次医療機関)から同製品の購入に関心があることを確認した。
YUMIZEN G400	一台販売成約済み	対象エリアを限定せずに販売可能性調査を実施した際、一次医療機関での購入意向があり、堀場製作所社日本側・代理店に協力を得る形で販売成約に繋がった。